

## プロジェクト進捗報告(月次)

プロジェクト名:「女子にやさしい教育環境のための地方政府による学校の月経衛生管理(MHM)導入支援」



2025年12月10日の地方政府や学校関係者とのミーティング後に撮影した集合写真

報告期間: 2025年12月1日～31日

作成者: Global Bridge Network(グローバルブリッジネットワーク)

## 第Ⅰ部: 概要

本プロジェクト「地方自治体の下で学校における生理衛生管理(MHM)を導入し、女子にやさしい教育環境を整備する支援」は、2025年11月1日に正式に開始された。対象地域はワキソ地区ナンサン市で、ナンサン、ナブウェル、ブスクマ、ゴンベの4行政区(Nansana, Nabweru, Busukuma, Gombe)を含み、ベースライン調査対象校は30校である。地方自治体職員に対する調査は実施中であり、選挙活動が激化する前の2026年1月第2週までに完了する見込みである。学校に対する調査は一部完了しているが、引き続き実施中であり、2026年2月末まで延期となっている。また、小規模なスタートアップ会議も開催され、学校関係者および地方自治政府の職員など主要関係者が多数出席した。

## 第Ⅱ部: 今月の主な活動と成果

活動コード	実施内容と今後の方針
ベースライン調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 2025年11月より調査を開始し、一部完了したがまだ調査中。</li> <li>- 地方自治政府の職員の調査は2026年1月15日に完了予定。データ入力は2026年1月末に完了予定。</li> <li>- 学校調査も引き続き行うが休暇明けの2026年2月2日の学校再開のタイミングで実施し、データ入力は2026年2月中旬までに完了予定。</li> <li>- 保護者(父母、地域住民など)へのインタビューは、2026年1月の第1週目に開始予定。</li> </ul> <p><b>その他の実施活動:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 2025年12月8日、教育スポーツ省の管轄下のジェンダーユニットのチーム(ジェンダー担当官たち)と会議をし、プロジェクトを紹介した。また、学校で月経衛生管理(MHM)を実施する際の政府のアプローチについて助言を求め、国内の他地域への拡大に向けて彼らとどのように協力できるかを模索した。</li> <li>- 2025年12月10日、上記のジェンダーユニットとの会議では不在だったジェンダーアドバイザーのMs. Rossette Nanyanziと別途Zoomミーティングにて話した。このミーティングは非常に有益で、対象校にて実施する際に従うべき指針を聞いた。Ms. Rossette Nanyanziは、教育省ジェンダーユニットを代表して、GBNに対してプロジェクトを成功させるための支援を約束してくれた。</li> <li>- 2025年12月10日、小規模なスタートアップ会議が、関係者であるステークホルダー(学校関係者や地方自治体職員など)と共に開催され、プロジェクトの紹介とベースライン調査のデータ収集への協力を依頼。スタートアップ会議はとても上手くいき、参加者すべてがプロジェクトを円滑に実施するための支援と協力を誓った。</li> </ul>
活動1. 学校MHM導入のためのツールと	1-1) 情報共有・ネットワーク・研修・布ナップキン販売を行う「Happy MHM(月経衛生管理)センター」の設立

研修プログラム開発	<p>-候補地は①Ashinaga Uganda Rainbow House、②H&amp;F Medical Center, ③Nurture Africa Medical Centre となった。</p> <p>-①～③から②の H&amp;F Medical Center が選ばれ、MoU(合意書)を作成し、現在は交渉中。</p> <p>1-2) 「学校 MHM ガイダンス」「MHM ブックレット」「布ナプキン作りマニュアル」を開発中。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 学校 MHM ガイダンス: 下書きが作成し、GBN チームによるレビュー中。</li> <li>- MHM ブックレット: 前プロジェクトでの冊子を改訂中。最初に共有された下書きは GBN チームによるレビュー中。</li> <li>- 布ナプキン作成マニュアル: 日本チームが作成中。下書きを GBN チームによるレビューのために共有。</li> <li>- 上記すべてのツールは 2026 年 1 月までに完成予定。</li> </ul> <p>1-3) トレーナー研修プログラムの準備</p> <p>準備に十分な時間を確保するために、ツールの開発と同時に研修プログラムの作成も同時進行する。</p>
-----------	---

### 第三部: 課題と対策

課題	対策
2026 年 1 月 15 日～2 月 6 日は選挙に向けたキャンペーン期間であり政治状況が不安定である。	フィールド活動の際は安全確保を徹底することをスタッフ間で議論。 選挙が激化する前の 1 月 12 日までに必要なデータの収集。
多くの学校での全国試験や学期末による閉鎖など不利な学校カレンダーによりデータ収集の遅延を招いた	学校調査は学校の休み明けの 2026 年 2 月初め以降に延期

### 第四部: 来月の活動予定とタイムライン

活動	期限
ベースライン調査と評価	2026 年 2 月終わりまで(継続中)
活動1: 学校 MHM のためのツール開発とトレーニングプログラム	
1-1) MHM 情報の共有、ネットワーキング、研修、布ナプキン販売のための中心的な場所(ハッピー MHM センター)を設立	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ジェンダーユニットを訪問して初期研修を受ける</li> <li>- チーム内で新スタッフの役割と報酬について話し合う</li> <li>- センター運営およびアウトリーチスタッフを採用</li> <li>- 布ナプキン製作の仕立て職人を雇う</li> <li>- 裁縫用ミシンを設置</li> <li>- 布ナプキン製作のトレーニング計画を立てる</li> </ul>	2026年1月2週目まで 2026年1月4週目まで 2026年1月4週目まで 2026年1月4週目まで 2026年1月4週目まで 2026年1月5週目まで
1-2)	ツール開発(学校 MHM ガイダンス、MHM ブックレット、布ナプキン作成マニュアル)	2026年1月末までに下書き完成 2026年2月末までに関係者(ジェンダーユニット、ナンサナ自治政府)にツールのレビュー依頼し、最終版を作る
1-3)	学校月経衛生やナプキン作成におけるトレーナー研修プログラム作成(1-2 で作成したツールを使う)	2026年2月終わりまで(継続中)

## 第V部: 活動写真

 <p>ジェンダーユニットの担当者との会議後の集合写真</p>	 <p>地方自治体教育担当官のルワンガ氏による公式発言</p>
--	---



GBN プロジェクトコーディネーターによるプロジェクト概要についてのプレゼンテーション



自治体の保健検査官が会議にて発言



副校長(Ms. Zawedde Annet, Buwambo C/U)が学校での月経衛生管理(MHM)についての経験を共有



LC3 議長のマトヴ氏ジョセフが会議で発言